

「議案第120号平成28年度大阪市一般会計予算」等の組み替えを求める動議

「議案第120号平成28年度大阪市一般会計予算」「議案第124号平成28年度大阪市国民健康保険事業会計予算」「議案第126号平成28年度大阪市介護保険事業会計予算」「議案第129号平成28年度大阪市港営事業会計予算」「議案第130号平成28年度大阪市下水道事業会計予算」「議案第131号平成28年度大阪市自動車運送事業会計予算」「議案第132号平成28年度大阪市高速鉄道事業会計予算」「議案第133号平成28年度大阪市水道事業会計予算」「議案第135号平成28年度大阪市公債費会計予算」について、市長は別紙要綱により、すみやかに組み替えを行い、再提出することを要求する。

2016年3月 日

大阪市会議長 東 貴之 様

提出者

瀬戸 一正 山中 智子 井上 浩 江川 繁 寺戸 月美  
尾上 康雄 岩崎 けんた こはら 孝志 小川 陽太

---

(別 紙)

高すぎて払えない国民健康保険料の引き上げなど、厳しいくらしの実態に目を向けない、市民に冷たい予算となっている。

一方、副首都構想へと看板のすげ替え、地下鉄・市バスの民営化準備や住吉市民病院を廃止し府立病院へ統合する予算など、大阪市廃止・分割の先取りとしての予算を組んでいる。また、カジノやなにわ筋線、うめきた新駅設置、国際コンテナ戦略港湾など、ムダな大型開発優先の予算となっている。

したがって、昨年5月の住民投票でノーの判断が明確に示された大阪市の廃止はきっぱりやめて、都市内分権の拡充に努め、市民のくらし、住みよい街づくり、中小企業の経営支援を優先した予算に抜本的に組み替えるべきである。

1. 市民のくらし、福祉、教育を優先した予算にする

- ① 国民健康保険料の1%引き上げをやめ、1人あたり年間1万円減額する。
- ② 介護保険料を引き下げる。
- ③ 幼稚園保育料を引き下げる。
- ④ 就学援助制度を拡充する。
- ⑤ 新婚世帯向け家賃補助制度の新規受け付けを再開する。
- ⑥ 敬老パスは50円の利用料負担をやめ、元の無料制度を復活させる。
- ⑦ 上下水道料金福祉措置を復活させる。
- ⑧ 生活保護「適正化」の警察OBの配置等にかかわる予算を削除する。
- ⑨ 地活協への補助金、ふれあい食事サービスや老人憩の家の運営補助金を拡充する。
- ⑩ 公衆浴場等の固定資産税の減免制度を復活させる。
- ⑪ 小中学校の校長公募は直ちにやめる。
- ⑫ 小中学校の全学年で35人学級を実施する。
- ⑬ 「中学校統一テスト」、「小学校学力経年テスト」の予算を削除する。
- ⑭ 学校維持運営費を拡充する。
- ⑮ 小中学校の給食費を引き下げる。
- ⑯ 認可保育所を増設し、待機児解消を急ぐ。
- ⑰ 幼稚園教諭・保育士の給与を引き上げ、待遇改善に努める。
- ⑱ 動物園、博物館は直営を継続する。

2. 大阪市廃止・分割のための先取り予算を削除する

- ① 地下鉄・市バス民営化準備のための予算を削除する。
- ② 住吉市民病院の廃止・府立病院への統合の予算を削除する。
- ③ 水道事業の民営化にかかわる予算を削除する。
- ④ 市立幼稚園、保育所の民営化にかかわる予算を削除する。
- ⑤ 副首都局にかかわる予算を削除する。
- ⑥ 府市統合にかかわる予算を削除する。

3. ムダな大型開発ではなく、公共事業は地域密着型へ

- ① カジノを含む統合型リゾート(IR)を推進する予算を削除する。
- ② 国際コンテナ戦略港湾の関連予算を削除する。
- ③ なにわ筋線を事業化するための予算を削除する。
- ④ 淀川左岸線2期事業の予算を削除する。
- ⑤ うめきた新駅設置事業の予算を削除する。

- ⑥ 地下鉄 8 号線延伸に向けた予算を組む。
- ⑦ 市営住宅や特養ホームを増設する。
- ⑧ 住宅、公共施設の耐震化や津波などへの防災対策を拡充する。
- ⑨ 公園や街路樹の拡充、生活道路の改修を促進する。
- ⑩ 太陽光パネルの設置補助制度を復活する。